

【 診療科:消化器内科 】
 【 レジメン登録番号:IA-36 】

〈 FOLFIRINOX療法 〉

	投与量	投与経路	投与スケジュール(day)	
			1	14
オキサリプラチン	85mg/m ²	div	○	
レボホリナート	200mg/m ²	div	○	
トポテシン	180mg/m ²	div	○	
フルオロウラシル	400mg/m ²	div(10分以内で)	○	
フルオロウラシル	2400mg/m ²	div (or ci)	○	

【1コース期間: 14 日】 【総コース数: 規定なし】

【適応癌種:膵臓癌】

【時期: 術前、術後、手術不能・進行・再発】

【休薬・減量に関する要件】

項目	基準	減量内容	休薬時の再開基準

投与プロトコール

〈第1日目〉

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	イメンドカプセル 125mg	p.o.
Rp.2	5-HT ₃ R Blocker 1A	div(30分で)
	デキサート 9.9mg	
Rp.3	5%ブドウ糖液 100mL	div(120分で)
	オキサリプラチン 85mg/m ²	
Rp.4-①	5%ブドウ糖液 250mL	div(120分で)
	レボホリナート 200mg/m ²	
Rp.4-②	5%ブドウ糖液 250mL	側管 div(90分で) ^{※1}
	トポテシン 180mg/m ²	
Rp.5	生理食塩水 250mL	div(10分以内で)
	フルオロウラシル 400mg/m ²	
Rp.6 ^{※2}	5%ブドウ糖液 100mL	div(46時間で) (or ci 2.5mL/h、46時間で)
	フルオロウラシル 2400mg/m ²	
	生理食塩水 500mL ^{※3}	

〈第2,3日目〉

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	イメンドカプセル 80mg	p.o.
Rp.2	デカドロン 4mg	p.o.

【参考文献:N.Engl J Med 2011;364:1817-25.FOLFIRINOX療法適正使用情報(日本膵臓学会監修)】

【備考:※1…トポテシンはレボホリナート投与開始30分後から投与開始】

【備考:※2…Rp.6はインフューザーポンプを使用する場合、バクスターSV2.5を使用。】

【備考:※3…インフューザーポンプを使用する場合、生食希釈量はキャビネットに保存されている『バクスターインフューザー SV2.5 5-FU投与量別希釈量(m)FOLFOX6用』を参照。】

【変法情報: